

2014

S Lカートミーティング競技規則

# SLカートミーティング競技規則(レギュレーション)

## 第1章 大会開催に関する事項

1. 大会役員
2. 大会事務局
3. 競技会主催者、開催期日および場所
4. 競技の名称、種目、レース区分の格式
  - (1) 名称 SLカートミーティング〇〇シリーズ
  - (2) 種目 スプリントレース
  - (3) 区分 特別規則書付則にて公示します。
  - (4) 格式 クローズド

以上1から4は特別規則または公式通知にて公示します。

### 5. 公式通知に関する規定

本規則に記載されていない競技運営に関する実施細目およびドライバーに対する指示事項は、特別規則書および公式通知によって公示されます。なお、公示はつぎの方法によります。

#### (1) 開催期日の前日まで

大会事務局内に掲示されるとともに、エントリー申込書に記入してあるドライバーの連絡先に送付します。

#### (2) 開催当日

開催場所の事務局設置場所または主催者の指定の場所に掲示します。

## 6. 延期、中止または取止めおよび変更に関する事項

主催者は、大会審査委員会の承認を得て大会の全部または一部を延期、中止または取止めることができます。イベントの全部を中止し、あるいは24時間以上延期する場合、エントリーフィーは全額返還されます。ただし、保険金は返還されません。さらに、エントラントおよびドライバーは、これによって生じる損失について主催者に抗議する権利を保有していません。なお、主催者は大会審査委員会の承認を得てイベントの内容を変更する権限をあわせて保有するものとします。これに対する抗議は認められません。

## 第2章 競技会参加に関する事項

### 1. エントリーの受付

開始 大会開催日の1カ月前

締切 大会開催日の1週間前または付則に示す日時

郵送によるものも締切日までに必着のこととします。

締切以後および当日のエントリーは受付いたしません。

(注) SLカートミーティング以外の受付期間は上記とは異なる場合があります。

- (1) 受付時間9時より17時まで
- (2) 受付場所特別規則書に公示します。
- (3) 必要物
  - a. 参加申込書
  - b. 競技会参加に関する誓約書
  - c. SLO会員カード、2014年SLメンバーズブック
  - d. SLO安全協会加入証または保険加入証明書(コピー可)
  - e. ピットクルー登録申請書(ドライバー1名につき2名まで)
  - f. エントリーフィー
  - g. 主催者が指定するもの

### 2. エントリーフィーおよび保険料

エントリーフィー、保険料は必ず締切日までに完納していることとします。

### 3. エントリーの方法

主催者の指定する方法でエントリーして下さい。

### 4. エントリーの資格

- (1) SLO会員カードおよび2014年SLメンバーズブックの2点を所持していること。
- (2) 満20未満のドライバーおよびピットクルーは親権者の承認を必要とします。
- (3) 保険加入証明書(コピー可)
- (4) SLO会員カード、2014年SLメンバーズブックの2点を提示できないドライバーに対しては理由の如何を問わず出場が取消されます。
- (5) ドライバーズグレードにより、次表の通り出場クラスが制限されます。

	カデット	B	A	スーパーA
YAMAHA TRYカデット	出場可	出場可		
YAMAHA カデットオープン	出場可	出場可		
YAMAHA TIAジュニア	出場可	出場可	出場可	
YAMAHA TIA		出場可	出場可	出場可
YAMAHA SS		出場可	出場可	出場可
YAMAHA スーパーSS		出場可	出場可	出場可

#### 5. エントリーの受理と拒否

- (1) 主催者は、理由を示すことなくエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終の決定とします。この場合エントリーフィーは全額返還されます。
- (2) エントリーの受理は必要事項の全てが明記された参加申込書およびエントリーフィーが受付場所です受理された時点で主催者の参加承認が成立しますが、拒否の通知は開催日までに連絡されます。
- (3) 一旦受理されたエントリーフィー、保険料はいかなる理由があっても返還されません。

#### 6. 保険

参加するドライバー(ピットクルー加入の場合もあり)は、参加申込みと同時に主催者の指定する傷害保険またはSLOスポーツ安全保険に加入しなければなりません。

※ドライバー及びピットクルーはレース、練習時を含めて健康保険証を所持してください。

#### 7. シャシー、エンジンおよびタイヤの登録

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは、SL車両規定に準じた国内市販品とし、参加申込書により登録し、かつ車両検査に合格したもののみが使用できます。登録、使用できる数は次の通りとします。

シャシー1台。エンジン1基。

車検登録していないエンジンの使用は出来ません。

タイヤは、ドライ1セット、ウェット1セット。

タイヤにバースト等が発生した場合は、技術委員長の許可を受けて当該の1本のみを交換することができます。

#### 8. エンジンの交換規定

登録したエンジンが、故障破損等により技術委員長が走行不可能と判断した場合に限り、1回だけエンジンの交換が認められます。故障破損したエンジンも再車検の対象となります。交換する際は技術委員長立会いの下で追加の登録が認められます。

### 第3章 エンジンおよびカートに関する事項

#### 1. エンジン

エンジン区分はSL車両規定に準じ、車両規定第2章に示します。

#### 2. カート

1. に規定する当該エンジンを搭載し、SL車両規定に合致した車両で、かつ次の条件を満たさなければなりません。

- (1) サイドボックス、フロントパネルおよびフロントフェアリングを必備とします。  
また、メーカー純正や一般市販のリアプロテクションを必備とします。不備の場合は車両検査において修正を求められることがあります。  
※フロントフェアリングのワンタッチタイプは2個のブラケットで固定とし、ネジ止めタイプは2本のネジのみで固定とします。ワイヤーやテープ等で補強することは出来ません。
- (2) コース上にオイルを流出飛散させる構造のものの取付けは禁止します。
- (3) 競技ナンバーは車両の前方と後方に必備とします。  
前方・フロントパネル：垂直より後方の45°以内とし、明瞭に識別できる状態とならなければなりません。  
後部・リアプロテクション：中央のナンバープレート専用のスペースにしっかり貼りつけることとします。  
※競技によっては色指定があります。大きさは幅21cm位の四角形とします。
- (4) 競技ナンバーは、オーガナイザーが支給したもの、もしくは同一形状のものを取付けることとします。このナンバーは、車両検査を受ける前に必ず取付けてください。
- (5) バンパーは必ず前後に装着するものとします。バンパー及び取付方法はJAF車両規制第7条同等とします。サイドバンパーの役割はサイドボックスにより補われるものとします。  
※リアプロテクション装着の場合、防護バーは1本のみ取付が可能となります。
- (6) チェーンガードは必備とします。かつ下記項目をみたしていなければなりません。
  - a. 幅は3cm以上あり車両上方から見てチェーンが見えない状態であること。
  - b. 車両側方より見てドライブ側スプロケットとリア側スプロケットを結ぶ線の上の部分の有効に覆っていること。
  - c. 車両側方より見てドライブ側スプロケットが見えない状態であること。なお、クラッチ付きカートにおいては、上記は除かれますが、クラッチカバー（ハウジングカバー）およびSLクラッチにおいてはSLクラッチプロテクター(サ

ポートおよびS Lクラッチカバー)を取付けなければなりません。

d. チェーンガードおよびクラッチプロテクターの補強追加は認められます。

(7) 排気装置はつぎの通りとします。排気系統のいかなる部分も、車両全長および全幅より突出してはなりません。排出口の末端は、安全な加工が施されていなければなりません。排気はドライバーの後方で行われ、かつガスの排出は地上より45cm以下で行われなければなりません。

(8) 音量規制については「J A F 国内カート競技車両規則」第23条によるものとし、78dB(A) + 3dB(A) を超えるものについてはタイムトライアルに次表のペナルティが課せられます。

音量	加算時間
81. 5dB以上82dB未満	0.25秒
82dB以上82.5dB未満	0.5秒
82.5dB以上83dB未満	1秒
83dB以上83.5dB未満	2秒
83.5dB以上84dB未満	3秒

84dBを含み84dBを超えるものはレースから除外されます。

### 3. 燃料

#### (1) ガソリン

a. 一般のガソリンスタンドのポンプから販売される自動車の無鉛ガソリンの使用が義務付けられます。

b. 主催者は、ガソリンの銘柄および供給方法を指定する場合があります。この場合の詳細事項は、特別規則書または公式通知に示されます。

c. すべての燃料冷却方式は禁止されます。混合前のガソリン燃料および混合後のガソリン燃料すべてにおいて、冷却などの措置は一切禁止されます。

#### (2) エンジンオイル

a. 通常市販されているもののみとし、添加物の使用は一切認められません。

b. 主催者は、エンジンオイルの銘柄および供給方法を指定する場合があります。この場合の詳細事項は特別規則書または公式通知に示されます。

#### (3) 検査

ガソリンおよびエンジンオイルについて、予告なく抜き打ち検査(タンク内の燃料を採取する等)を行う場合があります。

この場合、必ずその指示に従わなくてはなりません。

### 4. 車両検査・装備

公式練習の前に車両検査を受けなければなりません。この際、非合法な部分がありながらも、なお技術委員に発見されなかったとしても承認が意味されるものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は黒旗の指示を受ける場合があります。

(1) 車両検査の日時および場所は公式通知で知らされ、ドライバーは車両検査に立合わなければなりません。

(2) カート車両とその装備類は清潔で、かつ正しく整備された状態でなければなりません。

(3) ドライバーの服装は装備の一部と見なされ、車検の対象となります。競技を安全に行うことを目的にC I K / J A F 公認のあるレーシングカートスーツの着用が義務づけられます。グローブ(手袋)、シューズ(足首まで保護する靴)など、それぞれ丈夫なものでなければなりません。なお、小学生にはネックガードおよびリブプロテクターの装着が義務づけられます。

(4) ヘルメットはフルフェイスタイプとし以下の規格のいずれかを有するものを強く推奨します。著しく角ばったものは禁止されます。また傷のあるもの、製造より5年以上経過したものはレース使用を認めないこともあります。

F I A 規定(付則L項第3章第1条およびC I K - F I A 技術規則 AppendixNo2) に適合したもの。

15歳以下はSnell-F I A C M S / R 2 0 0 7 規格適合品の使用を強く推奨する。

日本工業規格(J I S 8 1 3 3 : 2 0 0)、J I S - C 種、または2種

スウェーデン規格(S I S 8 8、2 4、1 1 (2))

デンマーク規格(D S 2 1 2 4、1)

フィンランド規格(S F S 3 6 5 3)

ドイツ規格(O N S / O M K : 白地または青地に黒、白地に青または白地に赤レベルのみ)

スネル規格(1 9 9 0 S A および1 9 9 5 S A、S F I s p e c 3 1、1 およびS F I s p e c 3 1、2)

イギリス規格(B S 6 6 5 8 - 8 5 タイプA およびすべての修正型を含むタイプA / F R)

フランス規格(N F S 7 2 3 0 5)

欧州経済共同体規格(E 2 2 0 2、0 3 または0 4 シリーズ)

上記規格に適合しないものではJ A F 公認競技用ヘルメットの使用が推奨される。

(5) タイムトライアル、予選ヒート、決勝ヒートの走行後、主催者が指定した場所で計量および再車検が行われます。主催者によって違反が発見された場合は失格となります。

## 第4章 競技に関する事項

### 1. 信号

競技中ドライバーに対する指示は、下記の種類の旗に従い行われます。

#### (1) 国旗もしくはシグナル

競技開始は、国旗の振り降ろし、または赤シグナルのブラックアウト(消灯)でスタート。

#### (2) 緑に黄色の山形旗

ミススタート(再度スタートを行うためローリングをやり直す)

#### (3) 赤旗

レース中止または中断。ドライバーはただちにレースを中止または中断し、オフィシャルから指示された場合はどの地点でも停止できる態勢でスタートラインまで徐行し左右に分かれて安全確認しながら停止。

#### (4) 白旗

サービスカー(救急車)がコースインもしくはコース上にある。

#### (5) 青旗

(静止) 追い越されようとしているので現在の進行方向を保持せよ。

(振動) 追い越されようとしているのでその者に進路を譲れ。

#### (6) 黄旗

(静止) 前方危険であり追い越しを禁止する。※黄旗から対象車両までの区間は必ず減速し、追越禁止。

(振動) 前方が非常に危険であり停止準備かつ、追い越しを禁止する。※黄旗から対象車両までの区間は必ず減速し、追越禁止。

#### (7) オイル旗(赤縞の入った黄旗)

前方路上に油あり、走行に注意。徐行を心がける。

#### (8) 緑旗

競技続行。障害は除去されたので、コースクリア。

#### (9) オレンジポールのある黒旗

指示された番号のカートに技術的トラブルがあるのでピットイン命令。修理修復後、再出走できる。

#### (10) 白黒旗

指示された番号のカートによる軽度のルール違反に対して最後の警告(再度ルール違反をすると黒旗が出る)

#### (11) 黒旗

指示された番号のカートへのピットイン命令。当該ドライバーは競技長まで出頭。失格となる宣告または注意を受ける。

#### (12) 黒と白のチェッカー旗

競技終了。前方の車を抜かず、徐行し車検場に戻り車検を受ける。

### 2. ドライバースブリーフィング

大会参加選手はブリーフィングに参加することが義務であり、参加しない場合はレースから除外される場合があります。

### 3. 公式練習

すべてのドライバーは定められている公式練習に参加しなければなりません。

### 4. タイムトライアル

(1) すべてのドライバーは、予選ヒートのグリッドポジションを決めるための、タイムトライアルに参加しなければなりません。参加できないドライバーはその旨を届出ることとします。

(2) タイムトライアルの方法は、公式通知によって示されます。

(3) 計測開始後にコースに停止し再スタートできない場合や、ピットインした場合は、その時点でタイムトライアルの終了とみなされます。

(4) タイムトライアルの成績は次の順序により決定されます。

a. ベストタイムによる順位(同タイムの場合はセカンドのタイムの上位順とする)

b. ノータ임(出走順)

c. その他

### 5. レースシステム

予選ヒートの有無、グループ分け、ヒート数、周回数およびファイナルヒート進出台数とその周回数は公式通知に示されます。

### 6. グリッド

(1) カートレースでは、カートは2列に並び、第1コーナーに向かつてイン側の先頭がポールポジションとして位置付けられるのが一般的です。

(2) リタイア等によりレースに参加できなかったドライバーのポジションが、空席となっても他のカートは移動してはならず、スタートの合図が出されるまでは空席グリッドが維持されなければなりません。

### 7. スタート

(1) スタートは2列縦隊のローリング・スタートとします。(クラスによってはスタンディングスタートの場合もある)

(2) ローリングに遅れた者は手を上げて、他のドライバーにアピールし、すみやかに自分のスタートポジションに戻ることに

ができます。ただし、主催者が定める区間では追い越し、割り込みが禁止されます。これに違反した者はペナルティが課せられます。また、戻る途中でスタートした場合、これに対する抗議は受け付けられません。

- (3) カートの隊列が正規の順列でスタートラインの2.5m手前に引かれたイエローライン前において加速していないことを確認した時、スターターはスタートの合図を送ります。フォーメーションラップ中のドライバーは低速で一定のスピードを維持しなければなりません。
- (4) スタート前の最終的な隊列を形成させるために、イエローライン付近にパイロンを配置することがあります。当該パイロンに故意に接触した者にはペナルティが課せられることがあります。
- (5) スタート後、先頭のカートが1周するまでに、コントロールラインを超えられないカートはそのレースに出走することはできません。また、隊列がスタートを切った後は、ピットエリアにいる車両のコースインは認められません。
- (6) フォーメーションラップ中に隊列から大きく遅れ、白地に赤バツテンのボードにより指示された者およびフォーメーションラップ中にピットインした者は隊列の最後尾に着かなければなりません。

## 8. レース中のルール

- (1) コースは常に先入車優先とし、追い越しをするものは前方のカーターの走行を妨害してはならず、また前方のカートは、後続のカーターの進路を妨害してはいけません。危険な走行はペナルティの対象となります。
- (2) オフィシャルが反則または妨害行為（ブッシング・ブロックング・その他の非スポーツマン的行為）とみなしたドライバーに対して白黒旗が提示されます。さらにその行為が2回以上におよぶときは、失格となり黒旗を受けピットインし、競技長のもとに出頭しなくてはなりません。
- (3) いかなる場合も、定められた方向と逆に走行してはいけません（但し、クラッチ付カートの場合はコース復帰のため、安全確認後の方向転換は認められます）。
- (4) レース中は止むを得ない場合を除き、コースを外れてショートカットすることは認められず、当該行為はペナルティの対象となります。
- (5) 衝突を避けるために、止むを得ずコースアウトした場合は、その最も近いところから安全確認をおこない、コースに復帰しなければなりません。
- (6) レース中コース内で停止してしまった場合は、両手を高く上げてアピールし、他のカートが過ぎ去ってから後方の安全を確認し再スタートします。再スタートできないときは、レースの障害にならないように自分のカートをコース外の安全な場所に移動し、ヘルメットをかぶったままレースの終了を待たなければなりません。
- (7) カデット、T I Aジュニアクラスにおいてはカートから降りなければならない状況の時は、オフィシャルにより排除されます。また、危険回避のためにオフィシャルが援助してコース復帰または排除する場合があります。
- (8) ドライバーが工具・ケミカル用品等を携帯して走行することは禁止されています。
- (9) ピットイン、ピットアウトは決められた場所で行わなければなりません。
- (10) コースとピットロードを区分するイエローラインをカットすることはできません。
- (11) レース進行中パドックに入ったカートはレースを放棄したものとみなされ、再びコースに入りレースに復帰することはできません。  
※パドックエリアはコースによって異なります。
- (12) 事故にみまわれたカートは、オフィシャルによって検査のため停止を命じられることがあります（競技役員の指示に従うこと）。
- (13) 競技長には、不適当もしくは危険とみなしたカートおよびドライバーを除外する権限があります。

## 9. レースの終了

- (1) レースの着順1位の者がフィニッシュラインを通過後2分経過した時点で終了となります。
- (2) チェッカーを受けた後はスピードを除々に落とし、前のカートを追越さず正規のコースを走行してピットロードに進入し車両検査を受けます。

先頭のカートが規定周回数を終了する以前に誤ってチェッカーが提示された場合は、その時点をもって競技終了となります。また遅れてチェッカーが提示された場合は、チェッカーとは無関係に規定の周回数で終了したものととして順位が決定されます。

## 10. 完走

- (1) 完走者とはレースの着順1位の者がフィニッシュラインを通過後、2分以内にカートが自力で同ラインを通過して、規定周回数の2分の1以上走行したものをいいます。この場合における自力とはカートとドライバーが一体となり、他の助けを借りることなくコースを正しい方向に進行できる状態をいいます。
- (2) フィニッシュラインを通過する際、ドライバーはカートに乗車した状態でなければなりません。
- (3) 完走者となった者のみが入賞の対象となります。

## 11. ペナルティ

- (1) ペナルティには次の5種があります。
  - a. タイムおよび得点ペナルティ
  - b. 警告
  - c. 順位降格（リザルトのポジションダウン）
  - d. ラップペナルティ

#### e. 失格

- (2) タイムおよび得点ペナルティは、騒音測定結果によりタイムトライアルおよび予選ヒートに適用されます。
- (3) 警告はその必要ありと認められた違反に対し発せられます。
- (4) 順位降格はレーススタート時の違反、危険な行為などの場合、そのヒート終了後の順位を下げる時に適用されます。
- (5) ラップペナルティは、失格にならない程度の違反に適用されます。
- (6) 失格は次の反則行為に課せられます。
  - a. 違法または不当に得たアドバンテージ。
  - b. 故意に自己または他人の安全をかえりみる事なく行う危険行為。
  - c. 与えられたオフィシャル指示を故意に無視したとき。
  - d. 与えられたフラッグサインの無視。

#### 1 2. 順位の決定

レースの順位は、次の順序によって周回数が多い順に決定されます。

- (1) チェッカーを受けた完走者（規定周回数の1/2以上を走行し、チェッカーを受けた者）
- (2) チェッカーを受けていない完走者（規定周回数の1/2以上は走行したがチェッカーを受けなかった者）
- (3) 周回数に基づく不完走者（チェッカーに関わらず1/2以上走行していない者）
- (4) 失格者
- (5) 不出走者（当該ヒートに出走できなかった者）  
※上記項目で、複数の同一周回数者がいた場合は、フィニッシュライン通過順位とします。
- (6) ポイントは完走者のみに与えられ、不完走者および失格者には与えられません。  
☆成績表（リザルト）に記載される「DNS」、「DNF」とは？  
DNS スタート合図が出る前に止まってしまった（リタイア）。  
DNF スタートをしたが、チェッカーフラッグを受けることが出来なかった。

#### 1 3. ピットおよびパドック内におけるルール

- (1) 大会に関係する者は、施設内ではすべて定められたクレデンシャルを付けなければいけません。
- (2) ピットは指定された場所を使用しなければなりません。また、ピット内で作業出来る者は、当該レースに出場しているドライバーと、その登録されたピットクルーのみです。（違反すると失格になる場合があります）。
- (3) 走行中のドライバーに対してピットサインを送る場合、登録ピットクルー1名に限りコースの定めるピットサインエリア内においてのみ、その行為を行うことができます。
- (4) クローズ競技会においてはピットクルーの行為に関する最終的な責任はドライバーにあります。ピットクルーによる規則の違反は当該ドライバーに対する黒旗の提示となります。
- (5) レース中の燃料補給は特別規則書付則で許可されていない限り禁止されます。
- (6) ピットエリア内（パドックを含み）における火気（暖房機、タバコ等）はすべて禁止となります。
- (7) レース中、ピットクルーは自分のピットエリアを離れてはいけません。
- (8) パドック内での走行はすべて禁止されます。
- (9) パドック内でエンジンを始動することは禁止されます。  
（但し、エンジン始動チェック指定場所が設けられている場合は除きます。）

#### 1 4. 車両保管

- (1) 原則として全車30分以上の車両保管を行います。
- (2) 技術委員長はスタートした全ての車両に関し車両検査を行う権限を保有します。技術委員長が検査を行う際はドライバー、登録ピットクルーが責任を持って、車両の分解および組立てを行わなければいけません。関係役員、およびドライバー、登録メカニック以外は、検査に立ち会う事はできません。
- (3) 本条項の検査に応じない場合は失格となります。

#### 1 5. 抗議

- (1) 主催者の判定に異議がある場合は書面をもって抗議料を添付の上、ドライバーおよびエントラント（制限付格式以上のレース）より競技長を経由して、大会審査委員会に提出するものとします。
- (2) 抗議提出の時間制限
  - a. 競技に関する抗議：当該、暫定結果発表後30分以内。
  - b. 車両に関する抗議：自己のカート車検終了後ただちに。

#### 1 6. ウェイトトハンド制

主催者が特別規則に明示することにより、YAMAHAカデット（2クラス）を除く全クラスまたは一部のクラスにおいては、年間シリーズを通して、下記の基準に基づいたウェイトハンド制を実施する場合があります。

- (1) 毎レース上位入賞者（1位から3位）に対し次回参加のレース時に最低重量に下記の特別ウェイトを加算することが認められます。  
1位：5kg    2位：3kg    3位：1kg
- (2) 上記該当者は3位以内に入賞し続ける限り積算されます。ただし10kgを上限とします。

- (3) ウェイトハンデ後の初めてのレースで着順が3位以内に入賞しなかった場合には、次大会でウェイトハンデは解消されます(但し最低重量を下回ってはならない)。
- (4) 連続して3位以内に入賞している者が3位以内に入賞しなかった場合には、次の大会参加時は直近に加算されたウェイト分のハンデ重量が軽減されます。

## 第5章 成績および賞典に関する事項

賞典、シリーズポイントは下記の通りとします。これ以外の基準を適用する場合は特別規則書で公示します。

### 1. レースの成立

クラス別に参加台数が5台以上あった場合にレースが成立します。性能が近似したクラスが混走となる場合がありますが、賞典をクラス別とするか、総合順位とするかは主催者が決定して示します。

### 2. 賞典

各クラス第1位から第5位 トロフィー

各クラス第1位から第3位 副賞

※クラス別参加台数により賞典が制限される場合があります。

### 3. シリーズ戦ポイント

本大会のドライバーポイントは次の得点基準を適用します。得点は決勝レース完走者(規定周回数の半分以上を完了した者)のみに与えられ不完走者、失格者および不出走者には与えられません。

- (1) シリーズの成立は3大会以上とします。
- (2) 各クラスごとに同一シリーズ戦を通じて最多得点を獲得したドライバーをシリーズチャンピオンとします。
- (3) 主催者によって別のポイントが指定されることがあります。
- (4) シリーズ戦ランキングは、同一シリーズ戦の全戦のポイントを合計し得点の多い順に上位とします。
- (5) 同点の場合は上位入賞回数の多い者を上位とします。
- (6) (5) で決定できない場合は最終戦の順位で決定します。

順位	得点	順位	得点
第1位	20点	第6位	6点
第2位	15点	第7位	4点
第3位	12点	第8位	3点
第4位	10点	第9位	2点
第5位	8点	第10位	1点

### 4. シリーズ賞典

S Lカートミーティングシリーズの各クラスシリーズチャンピオンには下記の賞典が贈呈されます。

☆ヤマハK T 1 0 0 S E Cベースエンジン (クラッチ、セルスターターパーツレス)

## 第6章 損害補償

主催者および大会役員の業務遂行により起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷および車両の損害に対して主催、後援、協力、協賛するものおよび大会役員は一切の補償責任を負わないものとします。

## 第7章 広告に関する事項

ナンバープレートに広告を表示することは認められません。その他の広告については、主催者は次のものに関し抹消する権限を有し、ドライバーはこれを拒否することができません。

- 1. 公序良俗に反するもの。
- 2. 政治・宗教に関連したもの。
- 3. 本大会に関係するスポンサーと競合するもの。

## 第8章 肖像権及び個人情報に関する事項

レース主催者は個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)に基づきレースイベント参加者の肖像権及び個人情報を下記業務ならびに利用目的の達成に必要な範囲で利用いたします。

### 1. 業務内容

レースイベントの受付、レースイベントのプログラム作成、レースイベントの状況撮影、レースイベントのリザルト作成、保険の受付、その他、レースイベントを円滑に行うための業務および、これらに付随する業務。

### 2. 利用目的

- (1) レースイベント事務手続きを行うため。
- (2) レースイベント参加者の個人成績を公表するため。
- (3) レースイベントの内容をインターネット経由し情報を公開するため。

- (4) レースイベントの状況動画や画像配信を行うため。
- (5) レースイベント中に事故があった場合保険処理を行うため。

## 第9章 主催者の権限に関する事項

1. 参加申込の受付に際してその理由を示すことなくエントラント、ドライバー、メカニックの参加を選択あるいは拒否することができます。
2. 大会スポンサーの広告を参加車両に貼付させることができます。
3. やむおえない理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったドライバーの登録または変更について許可することができます。
4. すべての参加者、ドライバー、ピットクルーの肖像権およびその参加車両の写真、デジタル画像、音声、映像など報道、放送、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用する事を許可することができます。

「SLO安全協会」に加入していますか？ SLカートミーティングに参加する場合、加入が必要となります。

SLO安全協会の加入条件は

J K L A (日本カートランド協会)加盟コースを利用するすべてのカートを対象としたSLO(一般社団法人SLOカートスポーツ機構)が推進する「スポーツ安全保険」です。「スポーツ安全保険」とは財団法人スポーツ安全協会が、東京海上日動火災株式会社を幹事会社とする損害保険会社10社との間に傷害保険を一括契約する補償制度です。

SLO安全協会加入条件は

SLO安全協会の加入は、以下のいずれかのライセンスが必要となります。いずれのライセンスもお持ちで無い場合は加入できませんので予めご了承ください。

1. SLOメンバーズカード
2. JAFカートライセンス
3. コースライセンス(J K L A加盟コースが発行するものに限る)

※当該年度小学2年生から加入が出来ます。

補償内容の概要は？

死亡：2,000万円 後遺障害：3,000万円 入院：4,000円/日 通院：1,500円/日

保険期間は？

毎年4月1日午前0時から翌年3月31日午後12時まで。

※原則として加入申込は毎週火曜日締め切り、保険適用は該当週の金曜日午前0時からになります。

※登録項目に不備がなく、受付が終了した場合。

途中入会や途中脱会の場合は？

途中入会であっても加入する事ができますが保険期間の延長はありません。途中脱会の場合であっても加入登録料の払戻は行いません。

(例) 1月に加入した場合、保険有効期間は当該年3月31日午後12時までになります。

更新はあるの？

新年度の受付開始は毎年3月1日からとなり、保険適用は4月1日からとなります。

(例) 3月に開催されるレースと4月に開催されるレースに出場する場合は、当該年と新年度の2回の加入が必要となります。

※新規の場合のみ

SLO安全協会加入登録料は？

1. SLO会員(SLOメンバーズカード所持者)
  - a. 当該年度高校生以上：2,750円
  - b. 当該年度中学生以下：1,700円
2. SLO非会員
  - a. 当該年度高校生以上：4,250円
  - b. 当該年度中学生以下：3,200円

※2014年1月現在の登録料です。3月に改訂がある場合があります。

SLO安全協会はどこで加入できるの？

SLO安全協会はとても簡単に加入できます。

1. J K L A加盟のランド(P x xページ参照)
2. SLOメンバーズ加入のスクール(講習会)を開催しているカートショップ

※加入月の翌月の10日前後に加入証が届きますので、常に携帯して下さい。(それまでは申込書の控えを必ず携帯して下さい)その他ご不明な点などはお近くのJ K L A加盟コースまたはカートショップでご確認下さい。

保険請求の流れ

もしランドでケガをしたら、ランドの窓口はその詳細を直ちに報告して下さい。

※後日の報告では保険の適応を受けられないことがありますので注意して下さい。



ランドは事故報告書を作成します。(ランドは事故報告書をSLO事務局に提出する)



医療機関の診断書（コピー可）をランドに提出して下さい。（ランドは診断書をSLO事務局に提出する）



SLOスポーツ安全協力は認定の是非を行います。



認定された場合。



保険請求用紙が保険会社から送られます。SLO承認の印が必要となりますので必要事項を記入してSLO事務局に郵送して下さい。



SLO事務局から保険請求用紙が返送されたら保険会社に手続を行って下さい。

※以降はご本人と保険会社とのやり取りになります。